



**東部複合施設開設20周年に寄せて**

東部公民館 館長 北沢 信

当複合施設20周年を迎えるにあたりご挨拶申し上げます。

平成9年4月に開設し本年度で20年になりました。東部地区は、当時人口が4,400人でしたが、地区内福祉施設や公民館の様な住民の集える施設もなくそれらを要望する住民も多かったと伺っております。当時の地区役員の奮闘努力で開設することができ、から20年。東部地区も人口が本年で3,300人と減少しました。しかし本年10月で



利用者50万人達成



20周年記念式典の様子

利用者が50万人に達しましたことは、日頃から住民の皆さまに親しまれてきた結果と深く感謝申し上げます。益々気軽に利用して頂けるような施設づくりを、住民の皆さまと共に進めてまいりたいと考えております。

今後、公民館は生涯学習の場として、福祉ひろばは健康寿命延伸都市の要として、デイサービスは高齢者ケアの拠点として、さらに推進してより良い施設の発展を目指してがんばりますので、よろしくお願いたします。

**東部複合施設開設20周年記念式典  
第20回東部地区文化祭**

平成9年4月に開館した東部複合施設が、地域の皆様にあいまして20周年を迎えます。

この施設は、東部公民館、東部地区福祉ひろば、東部デイサービスセンターに、平成26年度からは東部地区地域づくりセンターが加わった4つの施設からなっています。

去る11月10日には式典が開催されました。実行委員会が主催し、歴代町会関係者や行政関係者、施設関係者などの来賓を含めた約70名の出席がありました。式典では、公民館への寄贈品に対する感謝状の

授与などが行われました。その後の祝宴では、施設にまつわる昔話に花が咲きました。

続く11月12日、13日には20回目となる文化祭が開催されました。駐車場には舞台や神輿が集合し、20回を迎える文化祭のお祭り気分がさらに盛り上がりました。力作ぞろいの作品展示や各種サークルによるステージでの熱演等、東部地区の底力を見た思いでした。

この施設が出来てからの20年、社会や地域の様子は変わりました。それに伴い、施設の様子も少しずつ変わってきた



文化祭の様子

**秋の叙勲**

**東部地区からお一人が受章**



旭日小綬章 弁護士功勞  
石曾根清晃さん(71)(東町3)

受章される前の大変慌ただしいなか東町三丁目の石曾根さんの法律事務所にお邪魔してお話を伺いました。

いと運動しており、県弁護士会会長時代には地裁支部が廃止された大町・木曾などで弁護士の無料相談会を始めました。

パワハラなどで増えている労働審判は長野地裁に限られていましたが、近いうちに松本支部でも申し立てができる見通しとなりました。

弁護士は依頼者の悩みを解

決するほか、人権擁護など多くの公的活動を通して社会に広く提言できる立場に居ることから「選挙の無い政治家である」と認識して責任持って発言しなくてはならない」との信念だそうです。後輩を育てるとともに、今後一層の司法充実に取り組んでいきたいとの熱い思いを語って頂きました。

(毛利記)





**第20回  
東部地区文化祭**  
平成28年11月12日(土)13日(日)

舞台・神輿大集合と  
ミニSL「とうぶくん号」



福祉ひろばの賑わい



りんご・ティッシュ販売



わたあめ



名刺作成



熱唱! 熱演!  
ステージ発表



力作揃い  
作品展示

